

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 357

事務事業名	ふるさとの森林づくり事業	
基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040105	魅力ある農林水産業の振興
施策		林業の振興
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	本松 智	内線	254

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	大村市森林整備計画	
重点事業		

会計	一般		
款	6	農林水産業費	
項	2	林業費	
目	2	林業振興費	
事業コード	180000	ふるさと森林づくり事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	市内の森林		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図 対象をどのような状態にしたいか	すべての県民が享受している水源のかん養や県土の保全など、森林が有する公益的機能の重要性を踏まえ、次の世代に健全な森林を整備して引き継ぐ。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	地域林・里山林整備、森林のめぐみ普及・啓発等の環境税の趣旨に即した地域の独自性と創意工夫による多様な取り組みに対して補助金を交付する。		
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	ふるさとの森林づくり事業実施要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 取り組み事業数	計画値	3	2	2	3	
		実績値	3	2	4		
	達成度	%	100.0%	100.0%	200.0%		
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① 事業採択件数	計画値	3	2	2	3	
		実績値	3	2	4		
	達成度	%	100.0%	100.0%	200.0%		
	② 採択事業数/申請事業数	計画値					
実績値							
②	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	312	840	4,214	2,110	410	2,110	2,110	0
国庫支出金								
県支出金	312	840	4,214	2,110	410	2,110	2,110	
地方債								
その他								
一般財源								
② 人件費(千円)	954	861	1,354	1,402	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.12	0.11	0.19	0.19	森林学習(中央小学校5年生)、未利用材活用(南部森林組合)、NPO法人里山塾等	森林学習(中央小学校5年生)、未利用材活用(南部森林組合)、NPO法人里山塾等	森林学習(中央小学校5年生)、未利用材活用(南部森林組合)、NPO法人里山塾等	
時間外勤務(時間)		15	7	10				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,266	1,701	5,568	3,512				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	当初は、ながさき森林環境税を活用して「おおむらの森ふれあい事業(大村市主催)」・「絆の森ふれあい事業」・「未利用材活用(南部森林組合)」を実施予定。又、補正対応として「里山塾」「地域林・里山林整備」の事業を行う予定。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	すべての県民が享受している水源のかん養や県土の保全など、森林が有する公益的機能の重要性を踏まえ、次の世代に健全な森林を整備して引き継ぐために、この事業を行うことは妥当である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	「ながさき森林環境税」の趣旨に即した地域の独自性と、相違工夫による多様な取り組みを支援するために市の関与は必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	当初の計画を上回る取り組みが予定されている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地域で大切にしている森林を地域が望む姿に誘導してことが可能なため、施策に対する貢献度は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	「ながさき森林環境税」を活用した事業なので市の負担はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	来年度も市民・団体の活動が予定されているため現状維持とする。 第2期ながさき森林環境税事業はH28で完了であるが、次年度からは第3期が開始する予定。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。